

# Introduction

～ まちの人紹介 ～



## 「フラダンス講座」の講師

### 桑原 あい さん

「フラの魅力は人を笑顔にするお手伝いができること」と話してくれたのは、町教育委員会が主催するフラダンス講座の講師として、幅広い年代の町民に踊りを教えている桑原さん。

フラ（フー）はダンスという意味を始めたまっかけは、もともとタヒチアンダンスを学びたいと思っていたとき、フラを中心に教えているダンスの先生に出会ったこと。両方のレッスンを受け、「やっぱりフラって面白い。歴史を含めてフラは興味深い。子どもからお年寄りまで楽しめると感じ、フラの奥深さにどんどん惹き込まれました」と当時を振り返ります。

出身は沖縄県。オーストラリアでダイビングインストラクターの資格を取得し、ケアンズとインドネシアのバリ島でインストラクターとして働きました。帰国後は、保育士養成学校に通い、自身のルーツである沖縄県伊江島の保育所で勤務。幼稚園教諭や社会福

祉主事の資格も取得するなど、多種多様な豊富な経験と資格を持ち合わせています。

趣味は、サーフィンとエッセンシャルオイル。「雄武町でもサーフィンをしたい。ロングボード向けの波が立つと聞いています」と教えてくれました。「エッセンシャルオイルのことも学んでいて、マッサージやアロマ講座などをやってみたい」と今後の目標も掲げます。

東京都のフラスタジオに所属し、初級クラスの指導を担当していました。が、北海道の風土に魅力を感じ、家族で雄武町に移住してきました。

「雄武町に来たときは自然がとても豊かなことに驚き、スタジオの先生に写真を何枚も撮って送りました。大地と海のエネルギが豊かです」と踊りを表現するうえでの環境の良さを話してくれました。

「フフとエッセンシャルオイルの楽しさや奥深さを伝えていければ」と意欲あふれる桑原さんの今後に注目です。

## 雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくりま。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりま。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりま。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりま。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

▼今回はフラダンス講座の取材に行ってきました。講座は大人だけでなく子どもも受講しており、様子を見てみると、皆さんニコニコと楽しそうに教わっていました。フラのように親子で楽しめる習い事も珍しいですね。それもフラの魅力なのかなと感じました。（大辻）

## ◆編集後記 Editor's note

▼新雄武町図書館「<sup>ゆ〜と</sup>雄図ぴあ」がオープンしました。近年の図書館は本を読む、借りる場所だけではなく観光場所としても注目を集めています。友好都市の佐賀県武雄市では図書館の中に TSUTAYA などが入り全国区の話に。新図書館で町が活気づくことを期待します。（池田）